



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 ☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443
○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 ☎025-280-5475

—新型コロナ・オミクロン株— 県議会2月定例会始まる（会期：2月21日～3月25日） **感染対策を徹底し、医療整備を図り、いのちを守れ！**

2月県議会の一般質問を準備しています 課題がたくさん新潟県



準備している主な質問を
紹介します

知事の政治姿勢を質す

(1) 新型コロナ・オミクロン株感染対策について

①命を守ることが最優先の課題だが、政府の対応は後手後手で問題である。

②本県の三回目のワクチン接種が大幅に遅れている。原因と打開の対策を明示。

③発熱外来など感染症患者を受け入れる医療機関をはじめ、受診控えで大幅減収となっているすべての医療機関に減収補てんの支援を。

④学校・保育所等での感染拡大により発熱外来患者が

急増し、人手と資材がかかるとの4月からの診療報酬引き下げは問題。見直すよう国に要望すべき。

(2) 「敵基地攻撃能力」

の保有は憲法に明確に違反するものと考えるが、知事の所見は。

(3) 「新自由主義」の弊害を打破し、“やさしく強い経済”へ

①新自由主義が生んだ弊害について知事の認識は。安定した雇用確保の対策は。

(4) 佐渡金銀山の世界遺産登録について、併せて佐渡汽船について

①「佐渡島(さど)の金山」は、わが党も世界文化遺産登録の推薦に値するものだと考える。同時に、ユネスコの理念やICOMOS憲章に照らせば、江戸時代まで

の歴史だけでなく、戦時中の朝鮮人強制労働が存在した負の歴史も含めた全体像が示されるべきと考えるが、知事の所見はいかがか。

(5) 柏崎刈羽原発について

「3つの検証は期限を区切らず徹底的に」
東京電力の深刻な失態と不祥事が次々に明るみになるも、徹底的な「3つの検証」がいつそう重要となっている。知事の所見は。

新年度予算について

(1) 行財政改革行動計画の取組状況について

(2) 気候危機問題対策について

(3) ジェンダー平等推進対策について

(4) 教育行政について

地域医療構想について

本県の医師数、ICUの数などの医療資源は全国最低クラスである。にもかかわらず、一層の病床削減を行う「地域医療構想」を進めることは大きな問題だ。医師確保対策に全力で取り組んで

女性後援会の 街頭宣伝活動再開へ

今、冬でお休みしていましたが雪消えから開始の予定です。遠藤れい子県会議員、竹島良子前県議も参加します。



去年3月の女性後援会の街宣活動。マイクは竹島良子前県議（去年は雪がなかったですね）

5月に県知事選挙、7月に参議院選挙があります。皆さん、力をあわせて頑張りましょう。



可愛い孫とワンちゃんと一緒にいると元気が